

第42回医療安全管理者ネットワーク会議 in 学術集会

～新型コロナウイルス感染拡大の影響下で

得られた医療安全管理の教訓～3年間の経験から次に活かすこと～

■日時：2023年11月25日（土）12：00～12：50

■会場：第10会場 神戸国際会議場 5F「501」 定員：200名

■対象：医療安全管理者、医療安全管理を担う方、医療安全に関わる方、等

■主催：医療の質・安全学会 医療安全管理者ネットワーク委員会

■協力：ニプロ株式会社

■開催趣旨

医療安全管理者ネットワーク会議では第41回に「医療安全管理者の本当の‘仕事’～コロナ禍で出来た事、出来なかった事～」と題して、今までに私達が経験したことの無い3年以上に及ぶパンデミックという特殊な状況における医療安全について、日本医療機能評価機構の坂口美佐先生の「医療安全管理と新型コロナウイルス感染症一事例から見えてきたもの」基調講演をもとに参加された方々で議論しました。今回はこの議論から見えてきた、感染という広範囲かつ長期間に及ぶ災害における医療安全の総括と未来に向けてのメッセージを共有したいと思います。

■座長

遠田 光子（医療の質・安全学会 医療安全管理者ネットワーク委員会 担当理事）

寺井美峰子（医療の質・安全学会 医療安全管理者ネットワーク委員会 委員）

■演題・講師

～新型コロナウイルス感染拡大の影響下で

得られた医療安全管理の教訓～3年間の経験から次に活かすこと～

鈴木 真（医療の質・安全学会 医療安全管理者ネットワーク委員会 委員）

安宅 一晃（医療の質・安全学会 医療安全管理者ネットワーク委員会 担当理事）

竹田 洋樹（甲南医療センター 救急科）

■医療安全管理者ネットワーク委員

安宅 一晃（奈良県総合医療センター）

荒井 有美（北里大学病院）

遠田 光子（日本医療機能評価機構）

甲斐由紀子（宮崎大学附属病院）

亀森 康子（自治医科大学附属さいたま医療センター）

菊地 克彦（東京北医療センター）

塩津 昭子（公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院）

鈴木 真（社会医療法人友愛会 豊見城中央病院附属健康管理センター）

寺井美峰子（公益財団法人 田附興風会 医学研究所 北野病院）

松村 泰志（国立病院機構 大阪医療センター）

山内 桂子（東京海上日動メディカルサービス株式会社）